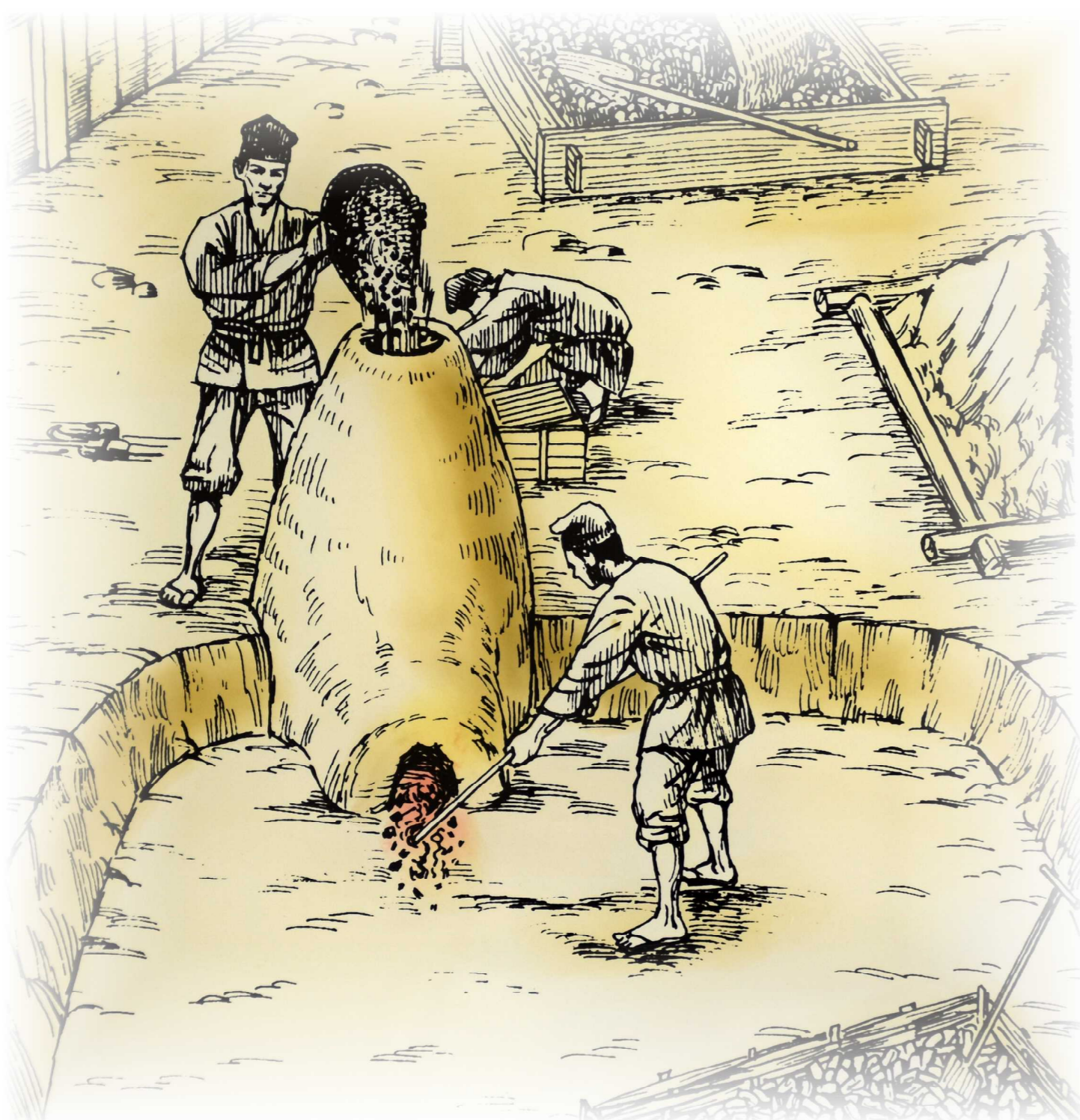


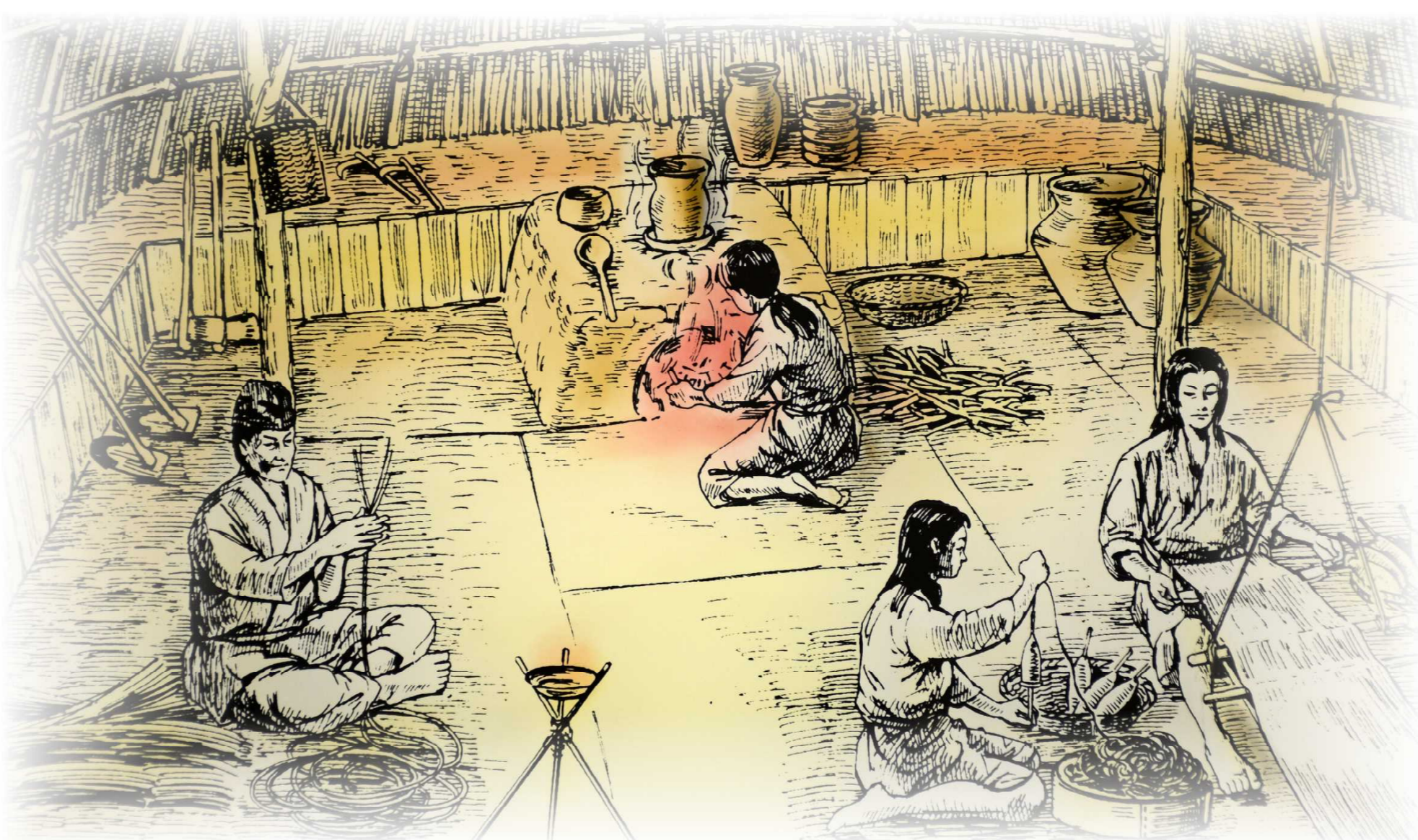
古代の国づくりと宮ノ脇遺跡



鉄製品（宮ノ脇遺跡出土品）



富寿神寶（宮ノ脇遺跡出土品）



桶川市加納及び赤堀に所在する宮ノ脇遺跡は、昭和58年以来、3次にわたって発掘調査が行われています。その結果、古墳時代から奈良・平安時代に続く大規模な集落遺跡が姿を現し、奈良時代には製鉄が行われていたことがわかりました。

今回の展示では、宮ノ脇遺跡に暮らした古代の人びとが、綾瀬川流域の大地を拓き、国作りに参加していく姿を紹介します。

〔展示期間〕

令和元年11月23日（土・祝）～12月22日（日）

〔関連講座〕

展示解説講座 『宮ノ脇遺跡の発掘調査から』

講師：橋本富夫 氏（元桶川市歴史民俗資料館長）

日時：令和元年12月1日（日） 午後2時開講

特別文化財講座 『山野の開発と古代国家』

講師：田中広明 氏（公財）埼玉県埋蔵文化財調査事業団

日時：令和元年12月8日（日） 午後2時開講

※ 電話にて事前申込

〔問い合わせ〕

桶川市歴史民俗資料館

〒363-0027 桶川市川田谷4405-4 川田谷生涯学習センター内

電話 048-786-4030

E-mail rekishi@city.okegawa.lg.jp

